

議 第 7 号 議 案

日本年金機構の情報セキュリティ対策の見直しを求める意見書の提出について

日本年金機構の情報セキュリティ対策の見直しを求める意見書を別紙のとおり、富士見市議会会議規則第13条の規定により、提出します。

平成30年6月14日提出

富士見市議会議長 尾 崎 孝 好 様

提出者 富士見市議会議員 篠 田 剛

賛成者 同 関 野 兼太郎

同 今 成 優 太

同 根 岸 操

提 案 理 由

日本年金機構の情報セキュリティ対策の見直しを求める意見書を地方自治法第99条の規定に基づき政府に対して提出するため、この案を提出します。

日本年金機構の情報セキュリティ対策の見直しを求める意見書

日本年金機構がデータ入力を委託した株式会社SAY企画の入力漏れと入力誤りにより本年2月支払い時の源泉徴収額に誤りが発生した。しかも、当事業者は契約違反である再委託まで行っていた。日本年金機構は平成27年5月にもサイバー攻撃を受けて個人情報の流出問題を起こしている。

莫大な個人情報を管理する機関が二度にわたって情報問題を引き起したことは、年金制度や個人情報保護制度の信頼を損ねる重大な問題である。複雑化した年金制度を正確かつ公正に運営しなければならない日本年金機構は、信頼回復のために情報セキュリティ対策を抜本的に見直すべきである。

よって、富士見市議会は、政府に対し、日本年金機構の情報セキュリティ対策の見直しを求めるため、下記の事項を要望する。

記

- 1 外部有識者の調査組織により本事案の業務プロセスを徹底的に検証すること。
- 2 委託業者の作業進捗管理手法や納品物の検証・監査体制を確立すること。
- 3 日本年金機構が保有する氏名、生年月日、住所、電話番号等の個人情報保護の在り方を再検討すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年6月 日

埼玉県富士見市議会

内閣総理大臣 安倍晋三様

厚生労働大臣 加藤勝信様